

研修目標

「病気」ではなく、病気を抱えた「人」を診る医師を育てることが、当院での研修の目的です。

そのために必要な医学的知識と技術を習得することはもちろんですが、それだけではなく、「病む人」を全人的にとらえ、その人の生き方を尊重した上での対応を学んでいただけるよう指導します。



研修プログラム

必修科目

内科(24週以上)、救急(12週以上)、地域医療(4週以上)、外科(4週以上)、小児科(4週以上)、産婦人科(4週以上)、精神科(4週以上)
※一般外来4週を含む

一般外来の研修を行う診療科 …内科、地域医療

救急部門について

休日・夜間の当直回数2年間で約40回を救急研修4週分に換算可能。また、次のいずれかを選択し、救急部門の研修とする。

- A: 救急外来8週 + 麻酔科4週
- B: 救急外来4週 + 麻酔科4週 + 当直4週(2年間40回)
- C: 救急外来8週 + 当直4週(2年間40回)

		(週)												
		4	8	12	16	20	24	28	32	36	40	44	48	52
1年次		内科						救急部門			外科	小児科	産婦人科	精神科
		(週)												
		56	60	64	68	72	76	80	84	88	92	96	100	104
2年次	地域医療	自由選択											地域医療	自由選択
	自由選択												自由選択	

プログラムの特徴

- 柏崎・刈羽地区の中核病院であることから、豊富な症例を経験することができます。
- 有能なスタッフのもとで、臨床医としての技術、思考方法などを学ぶことができます。
- 各診療科の垣根は低く、気軽にいろいろな科の先生方と相談することができます。
- 上記のように当院は柏崎・刈羽地域の救急搬送のほとんどを受け入れていますので、充実した指導スタッフのもと、多様な症例を経験することが可能で、十分な実力を身につけられることを保証します。
- 当院は地域密着型の病院で、高度の先進的な医療だけではなく、高齢者の診療にも重要な役割を担っています。訪問看護ステーションを併設して、入院のみならず在宅医療にも積極的に取り組んでいますので、医療・介護・福祉全体を経験することが可能です。さらに山間過疎地の診療所での経験と併せ、大病院の限定的な医療とは異なる本来の医療の姿を見ることができはらずです。
- あなたの希望に沿った形での研修が可能です。

基本研修以外にもある研修内容

- 内科臨床症例検討会…1回/週
- 地域医師会との臨床検討会…1回/2ヵ月
- 各科臨床研究会、学会での発表
- 外来初診症例診療(指導医と共に)…1回/週
- レントゲンフィルム読影研修…適宜
- 研修科指導医によるショートレクチャー
- 基本研修科以外の科の一次救急研修(耳鼻科、眼科、皮膚科)
- ペインクリニック研修
- CPC…適宜
- ACLS講習会…適宜
- 高規格救急車同乗(2回)

2 研修風景

研修医メッセージ

大関 明樹 出身地:新潟県長岡市 出身校:弘前大学 (平成30年3月修了)

私は元々は物理学を専攻した後、企業で半導体開発の仕事をしていました。人生を遠回りし、医学部を卒業した時には既に不惑をこえており、若い頃と比べて要領の悪さを痛感する日々ですが、多くの人に支えられながら勉強させていただいております。病院の雰囲気はアットホームで、どの先生も気軽に話しかけてくれます。教えることが好きな先生が多いようで、質問しやすくてとても助かっています。内科の研修は2つの診療科を掛け持ちしながら2ヶ月間隔で実習を進めていくという事が当院の研修の特徴の一つなのですが、これには理由があり、2ヶ月というある程度の期間を設けることで、シンプルな症例から複雑な症例までもれなく体験でき、半年という比較的短い期間で必修の内科を終えることが可能なので、選択期間に多くの時間をとることができるようになっていきます。また、実戦で

役立つ手技を体験できる機会があれば、科をまたいで体験することができ、様々な点に融通が利きます。中規模病院ならではのフットワークの軽さはこのような点にあると実感しています。現在研修医は一人なので寂しい時もありますが、新築の研修医室を独りで使わせてもらっています(疲れた時こっそり寝ているのはバレていないはず笑)。多くの事が体験できる病院です。ぜひご検討ください!



佐々木 亮 (令和元年5月・麻酔科研修)

柏崎で1ヶ月間の麻酔科研修をさせていただきました。普段は佐渡総合病院で研修医をしていますが、病院の規模や地域の中核病院という役割など、佐渡に近いものを感じました。

麻酔科の研修では常勤の指導医の先生に加え、日替わりで東京から出張で来て下さる先生方からも手技や考え方を教えて頂き、幅広い視点から麻酔科の手技や全身管理を学ぶことができました。

オペ室にいることが多かったのですが、外科系の先生やコメディカルの皆さんも佐渡と同様に皆さん優しく、余計なストレスなく楽しく研修できる環境でした。

僕は佐渡での研修に大変満足しているのですが、そんな中で柏崎をお勧めするポイントは、陸上交通で(特に冬でも!)新潟市や首都圏

に簡単アクセスできること、地域の背景人口が多いこと(約9万人 vs 5万5千人)、そして研修医が非常に少ないので自分の希望に応じて柔軟に研修スケジュールを組み、上級医の熱い指導も臨床経験も独占できることです!

海や山に恵まれた環境で生活したいけど離島はキツそう、という医学生さんの皆さん、一度柏崎に病院見学に来てみてはいかがでしょうか!



研修医募集要項

研修医募集要項		研修医の処遇	
募集定員	1年次 4名	研修医の身分	常勤臨時
必要書類	履歴書(市販のもの) 病院指定の臨床研修申込書	給与	厚生連研修医規定に準ずる 1年次…50万円程度 2年次…57万円程度
募集方法	マッチング・ホームページ 臨床研修プログラム検索サイト(REIS)参照	勤務時間	月～金8:30～17:00
問い合わせ先	〒945-8535 新潟県柏崎市北半田2丁目11番3号 電話:0257-23-2165 (総務課長/高橋潤一郎) FAX:0257-22-0834 メール:soum5@kashiwazaki-ghmc.jp	休暇	土曜・日曜・祝祭日、病院が定める特別休日、 年次有給休暇、年末年始休暇
面接日	相談の上決定	日当直	月2～3回
病院実習	相談の上決定	宿舎	病院で斡旋 補助有
病院見学	随時実施いたしますので直接ご連絡ください。	社会保険等	社会保険加入、医師賠償責任保険病院加入
		健康管理	年2回健康診断
		外部の研修	学会・研修会等への参加可能、参加費用支給有